

2019年10月 吉日

各位

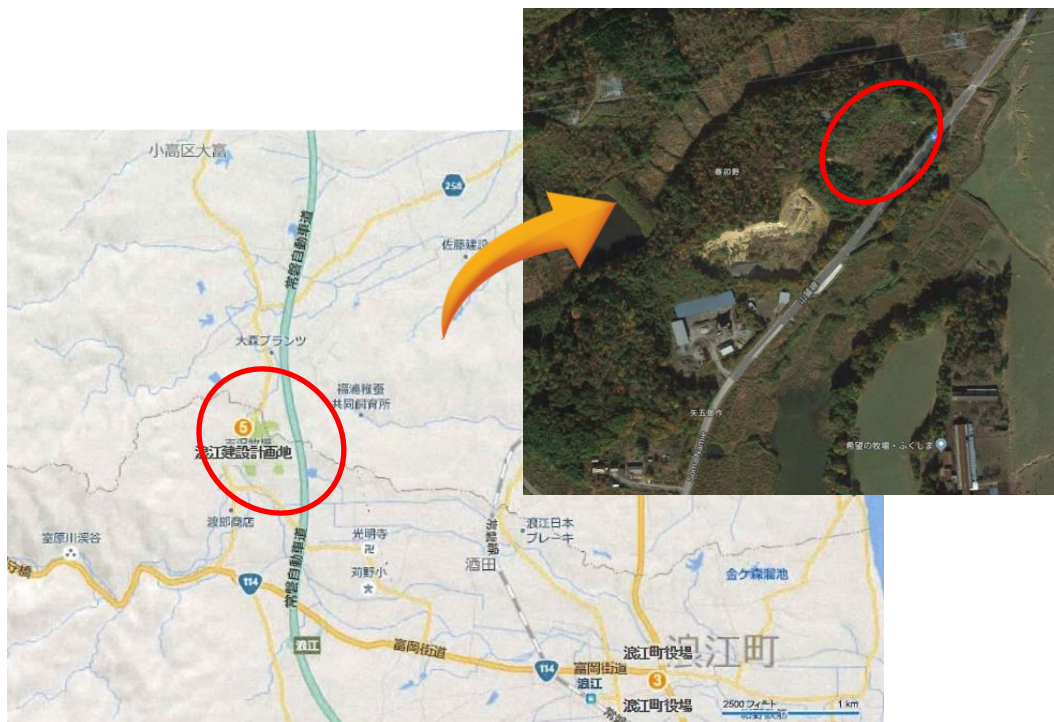
株式会社トーヨー浪江バイオマス発電所
株式会社浪江バイオマスチップ製作所

「浪江バイオマス発電所」および「浪江バイオマスチップ製作所」
起工式開催のお知らせ

トーヨーグループの株式会社トーヨー浪江バイオマス発電所（本社：福島県双葉郡）及び、株式会社浪江バイオマスチップ製作所（本社：福島県双葉郡）、はかねてより、福島県双葉郡浪江町においてグループとして第二号基となる木質バイオマス発電所およびチップ製作所の建設準備を進めてまいりました。この度、下記日時にて起工式を執りおこなうこととなりましたのでお知らせいたします。

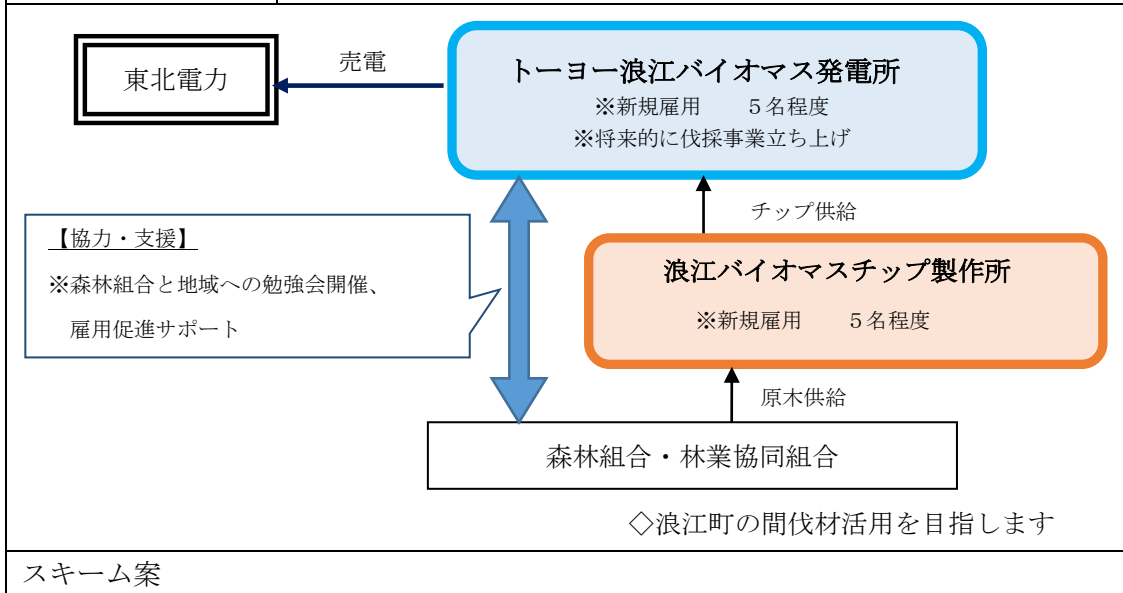
なお、株式会社浪江バイオマスチップ製作所は地元企業とトーヨーエネルギーファームが出資をして、福島県の林業再生を担う目的で設立した企業です。

日 時 : 2019年11月4日(月) 11:00～
場 所 : 福島県双葉郡浪江町大字立野字春卯野 149-4 (建設予定地内)



■施設概要

名 称	浪江バイオマス発電所・浪江バイオマスチップ製作所
所 在 地	福島県双葉郡浪江町大字立野字春卯野 149-4 他（上記地図）
発 電 規 模	1,999kW（一般家庭の約3,500世帯分）
年 間 発 電 量	約16,000MW（24時間333日稼働予定）
原 料	スギ等、間伐材等未利用材
プ ラ ン ト 方 式	ガス化エンジン発電方式
雇 用 予 定 人 数	10名予定
施 主	（発 電 所）株式会社トーヨー浪江バイオマス発電所 （チップ製作所）株式会社浪江バイオマスチップ製作所
建 築	株式会社トーヨー建設
プ ラ ン ト 設 計	株式会社トーヨーエネルギーソリューション
工 期	2019年11月～2020年9月予定



■事業背景

本事業計画地は、東日本大震災において避難指示解除準備区域でしたが、2017年3月に解除された場所となります。浪江町では復興計画において森林資源の活用及び林業の再生を定め、エネルギーの地産地消を目指すなど、重要な施策として再生可能エネルギー関連事業の取り組みを推進しています。

トーヨーグループで福島県に本社を構えるトーヨーエネルギーファームがこの地域で間伐等の未利用材を有効活用する木質バイオマス発電所およびチップ製作所の運営をおこなうことで、地域活性化および復興に向けた取り組みに一役を担えろと考え、本事業の計画に至りました。

■事業の内容・効果

未利用間伐材を使用した本発電事業が、林業の再生や木質資源の地産地消を後押しし、林業者雇用の拡大や担い手の育成にもつながり、地元の雇用促進への貢献が見込めます。

■本発電所の技術

本発電所の技術は、ヨーロッパにて長期稼働実績のある高効率のガス化発電技術に基づき新たに開発したトーヨーエネルギーソリューションのオリジナル技術です。高温で無酸素の炉に木質チップを投入し、高温の水蒸気中で精製されたガスをエンジン発電機に送り発電します。また、水蒸気で改質することで改質ガス中のタールを大幅に少なくする特徴があり、クリーンなガスで安定稼働を可能にします。

また、エンジンの排熱を利用して、チップ製作所ではチップの乾燥とバイナリー発電を行い、自家消費をして排出権の削減に寄与します。

■トーヨーグループについて

「人に寄り添う企業」を掲げ「安心安全で住みやすい街づくり」を目指しております。国内では石川県輪島市で同様のプロジェクトが進行中で、チップ工場は稼働中しており、同敷地での木質バイオマスガス化発電施設は試運転中です。兵庫県養父市の国家戦略特区ではメタン発酵バイオマス発電設備と大規模トマトハウス、ベトナムでは家庭から出る日量約 1500 トンの廃棄物をメタン発酵施設で処理し、13MW の発電や RPF 製造、リサイクル回収をおこないます。また、インドネシアでは JCM を利用した 12MW 小水力発電設備、福島県を中心に太陽光発電設備、筑波大学と農業事業等の共同研究など、全てのプロジェクトをエンジニアリングからおこないます。今後あらゆる分野にてさらなる雇用創出や地域経済の活性化のみならず、CO2 削減に寄与してまいります。

《お問い合わせ先》

株式会社トーヨーホールディングス 広報室 03-4400-6104